

これからの西区の防災のあり方について

～共助のあり方について～

1. 近年の自然災害の状況

○豪雨災害は近年増えてきている！

平成 30 年 9 月 台風 21 号 死者 14 名, 被害住宅 50,298 棟

平成 30 年 7 月 西日本豪雨 死者 237 名, 被害住宅 24,530 棟

○マグニチュード6以上かつ震度 6 以上の地震は 2.5 年に 1 度！

平成 30 年 6 月 大阪北部地震 死者 4 名, 被害住宅 27,192 棟

平成 28 年 4 月 熊本地震 死者 273 名, 被害住宅 206,886 棟

2. 西区での被害状況

○台風 21 号では 1 名死亡、6 名が負傷した。

○マンションでは停電が発生。停電による断水発生 ⇒ 生活ができない。

⇒ 近隣住民による受入や親戚の家族への一時避難で助かった。

⇒ 地域とのつながりの中で助け合いが行われた。

3. 自助が第1 でも共助も必要

○発災直後は、公的部門も打撃を受け、地域住民をすぐに助けることが困難。

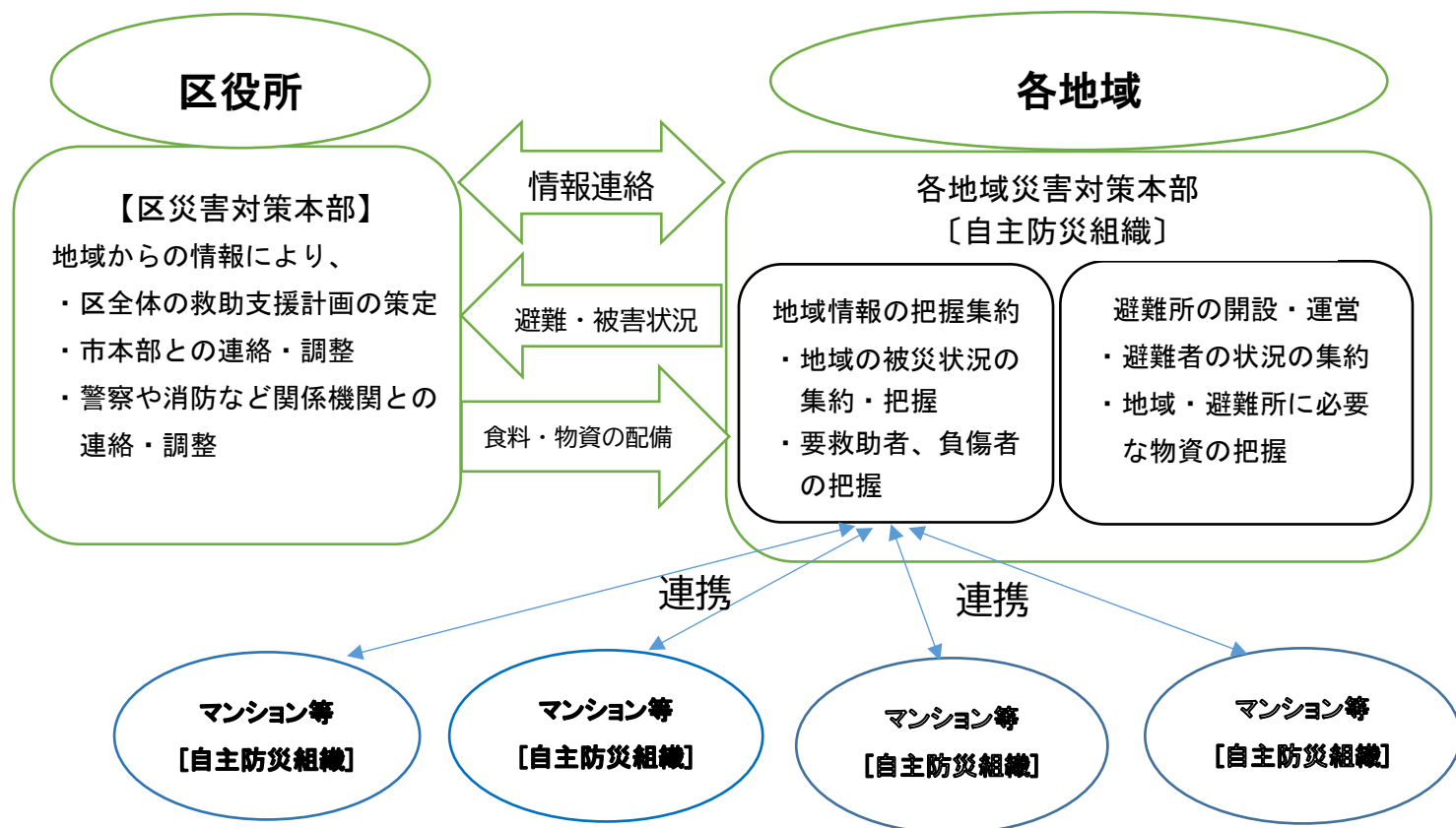
○自分や家族だけでなく、介護が必要な高齢者や子どもも守らなければいけない。

○マンションが被災、電力供給が止まり、排水設備が破損、水道が供給停止。

⇒ 隣近所の住民同士が互いに助け合いながら、災害に対応することが必要。

⇒ 地域の自主防災組織と連携を取ることが必要

4. 公助と自主防災組織とマンション防災について



区政会議にていただきたいご意見

※区役所は隣近所の方とつながっていくことが重要として
個別マンションの自主防災組織形成に向けた支援をおこなっています。

- お住い(マンション)における防災対策はどうなっていますか？
- マンションにおける自主防災組織形成に向け、どのような課題がありますか？
- また、どのようにすれば自主防災組織形成が進むと思いますか？

など、ご意見を頂戴できればと考えております。